



みんなの力でみんなの幸せ

s a w a r a b i

# さわらび

2 **医学誌** 認知症は無条件の支えと楽しく演技する介護

◆福井病院 院長 小橋 修

8 **特集** 介護現場からの警鐘 老老介護を考える

2009  
vol.431

3







医学講話

## 認知症は無条件の支えと 楽しく演技する介護

福祉村病院 院長

### 小橋 修

#### もの忘れと多彩な周辺症状

高齢社会の到来で、認知症のため仕事や家事に支障をきたすようになってきた。「外来」を訪れる家族が増えている。物忘れが目立つ。これ何？ といったものの名前が思い出せないが、いわれて思いだせば正常、わからなければ記憶障害。おき場所を忘れて探しまわる。お金が盗まれたとたびたび警察に電話する。一番身近な人が盗んだと責める。家に帰りますと出かける。会社や買物に行くときと出かけ、たびたび道に迷う。その場を取り繕う、作り話をする。注意すると怒りだす。約束を守らない、すっぱかす。電話のかけ方も忘れる。仕事のミスが多くなる。水の出しつ

ばなしや空焚きなど煩雑になる。同じことを話す。何度も聞き返す。夕方になると落ち着かなくなる。計算が出来なくなり、字も書けなくなり、服の着脱着衣ができなくなる。排尿排便の失敗が続く、放尿や便で部屋中を汚す、便をいじる。冷蔵庫を同じものでいっぱいにする。食べたのに食べてないという。なんでも口に入れる。ナマのまま口に入れてしまう。何でもかまわず集めてくる。欲しいものを勝手に持ち帰る。他人のものを盗る。テレビとしゃべっている。ガラスにうつる自分の影に話しかけたり怒ったりする。人前ではいい顔をするが、だらしなくなり、子供の顔も忘れる。車の事故も増える。「そっじゃない」「ダメじゃない」と正そうとすればするほど、イライラし、暴言や暴行が激しくなる。その

うち自発性が減退し、日常生活が全ううまく出来なくなり介護が必要になる。「薬はドクだ」「お前はニセものだから答えない」など介護拒否する。「何かをされる」といった被害妄想のため夜間に大声を出す、奇声を出すことが目立ってくる。これらの多くは脳の機能の低下が原因でアルツハイマー型認知症であることが多い。

見えないものが見える、聞こえない声がかえる

見えないものが見える、誰かがいる、動物がいる、ありありと見えると繰り返し、外で声がかえる、部屋に誰かいて話している声がある。仕事のミスで眠れなくなり、わけのわからないことをいう。落ち着かなくなり自殺をはかる。日によって「被害妄想」が出る。そのうち一日中ボーンとして、寝たり起きたりして、夕方になるとおかしな行動が始まる。よく転ぶ。一過性の意識消失や、向

精神病薬等に過敏に反応する。記憶力はあまり落ちていないが、病院に連れて行こうとすると、自分はどこも悪くない、なぜ病院に行くのだと怒って帰ろうとする。アルツハイマー型のこともあるが、レビー小体型認知症であることも多い。

#### 歩き方が変わる、よく転ぶ

安静時に手が震え、手足の筋肉のこわばりがあり、手を曲げようとするのがぐくと抵抗を感じる。小刻み歩行が目立つ。歩き出すと止まらなくなる。よく転ぶ。ばたんと倒れる、顔の表情が乏しくなるなどパーキンソン病の症状が目立ってくる。レビー小体型認知症の合併も多い。日常動作が遅くなる、話し方が遅くなる。寂黙になる。よくむせるようになり肺炎での入院や、転んで骨折の治療や手術を受けたころから物忘れやその他の周辺症状がさらにひどくなり、そのうち寝たきりになる。



奇妙な行動や大声を出す

診察中に急にスーと立って何度も出て行く。しっかりとこちらの顔を見ない。記憶は割合保たれているが、話している途中から意味もなく立ち上がったて出て行く。同じところを行ったり来たりする。質問とは関係なく同じ言葉、同じ話を何回も繰り返す。利き手はどちらと聞くと、「利き手ってなんですか」といった受け答えをする。手当たり次第に口に入れたり、奇妙な同一行動が目立ってくる。転々と仕事を変える。怒りっぽくなる。日中に大声を出す、奇声を発する。特に夕方になると不可解なことを言い、興奮がおさまらない。幻聴や被害妄想があり、大きな音を立て、大声を出し近所から苦情が来る。前頭側頭型認知症等が疑われる。物をとろうとしてよく引っ掛け落とす。独語や話の脈絡が無くなるが、「あの人はこうなんですよ」とよく人を見ていて、記憶障害も軽度だが、よく転倒するといった認知症もある。

話しかたがおかしい、字が書けなくなる、突然の意識消失

脳血管性認知症では、体が少し傾き始めた、手足の動きがおかしい、急に食べなくなった、意識レベルが低くなり突然意識がなくなった、言葉がはっきりしなくなった、理解できているときもあるがつじつまが合わなくなるなど一日の中でむらがある。口がまわらずうまく話せなくなる。手足に麻痺がある、けいれんがある。食事で、左側にあるもの用手につけない。いろいろなものに興味を持たなくなり、何かを始めても集中できず、ぼんやりしていることが多くなる。血圧の変動が目立ち、感情的に過剰に反応し、些細なことも泣き出したり怒り出したり暴力を振るうが、他人には愛想がいい。頭部CT、MRIで出血や梗塞、硬膜下水腫や脳の萎縮や脳室の拡大等が見つかると。以上認知症外来でよく出会う主な臨床症状を述べた。

沢山の病気から以上述べた症状が現れることがあるので、いつもとは少し様子が違うといった症状が見られたら、すぐに専門の病院で診断と治療を受けましょう。

「がんばらないがあきらめない、しあわせ介護」

認知症の多くは、環境の変化に非常に敏感です。

配偶者や大切な人をじくす、独居が始まる、転居すると症状が顕在化し、悪化することが多い。認知症介護の基本は無条件にすべてを受け入れる。赤ちゃんを介護するような気持ちでケアする。注意や説得は、イライラや、おびえ、沈み込んだり、怒らしたりするので、全面的に無条件に肯定して、自分には見えない、聞こえなくても、見えている、聞こえている振りをして、うまく相手の歩調に合わせて「楽しく演技をする」ことが大切。安定していたアルツハイマー型認知症に、脳血管病変が加わると急速に食欲がなくなり元気が

なくなり周辺症状も悪化し、死にいたる方もおられる。がんばっても自宅介護のみでは限界がくる。デイケアやショートステイなどの介護施設を上手に利用する。同じ悩みを抱えている人たちとのネットワークに参加する。積極的に身近に助け合いのネットワーク作りをしておくのが必要です。努力しても周辺症状がエスカレートすると、周辺症状を抑える薬の種類や量が増えていく。それでも安定しない患者さんが入院するとウソのように困っていた症状が軽減され薬もいらなくなることも多い。

ご献体いただいた方々の病理標本の研究から、臨床診断が違っていることもあります。がんばらないがあきらめない、楽しく演技する幸せ介護が大切ですが、対処療法ではなく病気を根元から治す薬や予防ワクチンの開発や幹細胞を用いた神経再生といったあたらしい治療が早く使える日が来ることを心から願っています。



## 赤津 裕康

### 【共同研究報告】

去る2月4日から7日までスイス、パーゼル大学病理学教授Dr.Marcus Tolnayが共同研究のために福祉村病院に滞在されました。彼は神経病理学、中でもタウ蛋白質に変性を来たしてくるピック病などのタウオパチーを専門にされておられます。今回は我々福祉村ブレインバンクの有用性を認められ、それだけのために来日されました。

私と彼は先号でご紹介した「第二回国際ブレインバンク」で知り合ったばかり。堀名誉所長とは、もともと堀先生がドイツにおられたときからのお知り合いではあったのですが、

私の学会での発表がきっかけで今回の話がはじまりました。学会の後、何回か電子メールのやり取りだけで話がすすみ、まさかこんなに早く来日が実現するとは思ってはいませんでした。

4日の朝に名古屋に到着され、早速、夕方にセミナーをしていただきました。セミナーでは彼が用いているユニークな実験手法で非常に興味深い病理所見が認められる点、さらなる進展のために我々との共同研究が重要であることがよく解りました（研究内容に関しては、まだ進展段階であるため詳しいお話ができないのが残念です）。

5日の午後は愛知医大の橋詰教授のBrain cuttingと臨床病理カンファレンスにも参加されました。実はDr.Tolnayと橋詰先生も初対面ではありませんでした。橋詰先生が2004年名古屋で日本神経病理学会会長をされた時にatryrophilicgran dementia のエキスパートとして学

会で招待講演をされておられました。Brain cuttingでは着替えられて（写真）積極的に所見を取っておられ私も大変勉強になりました。



● Marcus先生によるセミナーの様子

パーゼル大学病理学教授  
Dr.Marcus Tolnay  
福祉村来村



● Brain Cuttingの様子

6日は研究室で対象疾患のプレブライトを終日ご覧になられ今回の日々が達成できたようです。これまでの共同研究者で、国内においてさえ、実際に訪問されて検鏡をされた先生は殆ど皆無であり、神経病理医とし

ての貞摯な姿をみせていただきました。その反面、7日には二川宿木陣に私の家族と出かけたのですが（プライベートな話して恐縮です）、子供達を非常に可愛がっていただき、大変優しく、子供好きであられる面も拝見しました。滞在期間を通じて、Zöllner先生は大変遠慮深く、常に我々に気を遣っていただきとても感銘を受けました。

パーゼル大学は1460年に開学したスイスでも屈指の伝統校で、あのフロイトの弟子であるユンクも学んだ大学だと知りました。今後、福祉村ブレインバンクがこのように由緒あるパーゼル大学と良い関係での共同研究が発展し、世界的にも注目される結果が出れば、御献体いただいた方々の御遺志に少しでも報えるのではないのでしょうか。本当に良い先生と知り合うことができ、共同研究を組む事が出来ました。今後の成果にも大いに期待したいと思いません。



# 認知症対応型グループホーム「白珠」竣工内覧会開催



社会福祉法人さわらび会が、豊橋市平川本町に整備を推進しておりました「認知症対応型グループホーム白珠」の竣工に伴う内覧会が左記のとおり三月九日に開催されます。

**認知症対応型グループホーム白珠 内覧会**

日時 平成二十二年三月九日（月）  
午前十一時～午後四時

会場 グループホーム白珠  
豊橋市平川本町一丁目十五番地の二  
（地図参照）

グループホーム白珠では、地域密着型サービスのひとつとして、要支援2または要介護となられた概ね軽度から中程度の認知症高齢者の方が、明るく家庭的な雰囲気の中で生活していただけます。

専門の職員の介護を受けながら、1ユニット9人ずつの少人数の生活単位（2ユニット18人）で、お部屋には使い慣れた家具を持ち込んでいただき、ゆったりとした暮らしを創造します。

## ご利用者募集中です

### アクセス



お問い合わせ・申込先  
社会福祉法人さわらび会  
本部事務局(担当 土井)

0532-54-3501

## 障害者の就労支援

### 明日香での取り組み

明日香では、障害者の就労の場として、障害者への就労支援に取り組みんでいます。

そんな中、株式会社デンソー様が社会貢献事業の一環として2年前より、私たち明日香のクッキーをイベントなどで利用していただき、大変お世話になっております。この度、従業員の皆さんのより深い障害者理解を目標に、明日香のクッキーの出張販売をご提案していただき、1月より開始させていただきました。

「明日香のクッキーはいかがですか」と利用者さんたちの緊張したかけ声に、従業員の皆さんから笑顔で答えていただき、販売に参加する利用者さんたちも少しずつ自信が湧いてきたようです。

この販売会による従業員の皆さん

との交流が、障害者理解へとつながることを期待して、今後も頑張っていきたいと思っております。

また、皆様にご愛顧していただいている明日香のクッキーについても、より多くの方が手に取っていただけるよう、デザイナーの青山茂氏を招いて、新しいパッケージデザインやディスプレイの方法などについて、職員一同勉強をしています。このような取り組みにより、利用者さんの工賃が増え、またそれが働く喜びにつながってくれればと思います。

(山本)



●デンソーでのクッキー販売の様子



●販促会議の様子



# 若年性認知症

福祉施設院 医療ソーシャルワーカー

安達 薫

六十五歳未満で発症する認知症を若年性認知症といいます。その中でも、三十代や四十代で認知症と診断される方やそのご家族は、痛切な悩みや困りごとを抱えておられます。若いがゆえの問題は、まさに葛藤の連続です。日々の相談内容を通し、我々のすべきことを考えていきたいと思えます。

## 一、経済面での不安

働き盛りでの発症は、家族全員の生活に直結してきます。傷病手当や失業保険、障害年金だけでは、子の教育費などの捻出もままならないなどの問題をほらむこともあります。

## 二、告知の問題

自分が認知症と診断されたら、皆さんは告知を望みますか？なぜ、その薬を飲むのか、なぜその検査を受けるのか？告知は痛だけの問題ではありません。若年性認知症の患者さ

んの中には、自ら「認知症かも」と不安に思い診察に来られる方がおられます。本来、自分の生活設計を

考えていくためには、告知とは重要なことなのかもしれません。しかし、支援体制の整わない現状では、告知をすることが、本人を追い込んでしまうことになりかねません。何よりも議論され、かつ構築されるべきは、どのようなにして支援していくのかについて、地域とともに関係機関が、取り組むことだと考えます。

## 三、子供（家族）の受けとめ

幼い子供や、思春期の子供が、親が認知症であるという理解や受け止めができないことは当然のことかもしれません。そして、そのことにより自分の親が親らしいことをしてくれないと思いがちな子供がいます。認知症であっても親です。そのことを周りの人たちも理解し、子供の心を支えていくことは大切なことです。愛情を失ったのではなく、皆が見守っているから大丈夫だという

安心感を子供に与えられる支援が必要だと思えます。

## 四、利用できる社会資源が乏しい

四十歳になれば介護保険サービスの利用はできません。そのため四十歳以下の場合、精神障害者として障害者系サービスの利用を模索します。しかし、認知症という特性から精神障害者のデイサービスなどには馴染まないことは容易に想像できます。また、介護保険の利用ができません。また、高齢者向けのサービスの中において、本人も援助者も他の利用者も戸惑ってしまうことがあります。

そこで、サービスを利用するという発想を飛び出し、何らかの役割を担い、社会の一員として活動するという視点に立つことが重要になってきます。自立支援法においても、障害者の就労支援は、大きなテーマです。若年性認知症の方々に対し、就労支援的な発想を持つことはできないでしょうか。

## 五、おわりに

近隣の人々に若年性認知症であることを告げ、地域の中で家族とともに生活をされている方がおられます。三十代でアルツハイマー病を発症されたその方は、中学生のお子さんのお母さんでもあります。現在は四十歳になり要介護3の認定を受けました。地域のデイサービスを、担当のケアマネージャーさんと問題を取り越えながら利用されています。食事のことや身支度など日々のことはお姑さんがカバーしておられます。学校行事などは、近所の方々がサポートしてくれました。ご主人は「認知症になって恋人時代に戻ったようです。認知症は隠すことではありません。愛情を持って生活し、皆の支えがあれば、幸せに暮らせます」とお話しして下さいました。我々は、このようなご家族に寄り添う存在として、支援ができるよう研鑽せねばならないと思えます。



## ● 地域医療への更なる貢献を目指して

### 副理事長就任にあたり

医療法人さわらび会 副理事長

山本ゆかり



医療法人さわらび会は、世界で初めて認知症の治療に取り組んだ山本病院から、福祉村病院へと発展して参りました。

優れた治療と愛情あふれる看護の伝統を継承し、今日の医療を取りまく難しい環境の中で、理事長を補佐し、地域に役立つ病院作りに励みます。

民間病院でありながら、トップレベルの研究を誇る長寿医学研究所の一層の充実に努力いたします。皆さま今後ともご指導ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

### 副院長就任挨拶

福祉村病院 副院長・総看護師長

山本 淑子



医療の高度化、患者ニーズの増大により看護の必要性が年々高まるこの時期に、大役を拝命し、その重責に身の引き締まる思いです。

微力ではありますが、安全で質の高い医療を提供するために、現場で協働している多くの職種がお互いの専門性を認め、信頼し協力し合えるチーム医療を目指したいと思ひます。

また、患者様のための視点を忘れないうち、地域医療と質の高い認知症ケアやケア研究にも力を注いでゆきたいと思ひていきます。今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

インド福祉村協会は、引き続き認定NPO法人として認可されました

インド福祉村協会は、民族、宗教を越えて日本とインドの両国民が共通の価値観を共有し、互いに学び合うことを理念として、インド国の医療に恵まれない人々に対して、長年支援を続けてまいりました。

支援の多くは、皆様方からのご寄付によるもので、そのため当協会では、ご寄附いただいた皆さまに税制優遇が受けられるようにと、認定NPO法人としての申請をおこない、平成17年1月21日、国税庁長官より「認定特定非営利活動法人」であると認定されました。当時、名古屋国税局管内（愛知、岐阜、三重、静岡）では初、全国では29番目の認定団体となりました。そして今回17年、19年に引き続き、認定されたことで、今までと同じ様に皆さまからの寄附金が、制度に基づき寄附金控除等の対象となりました。今回の有効期限は、平成21年2月1日から平成26年1月31日までの5年間となっております。

(武田)

## 就職おめでとう

この度、明日香就労移行支援事業利用者の小林一彦さん、鈴木基主さんの就職が決まりました。11月から3ヶ月に及ぶトライアル雇用で本人たちの働く姿を見ていただき、就職へとつなげる事ができました。

厳しい時代ですが、今後長く勤める事ができるよう明日香としてもしっかりとサポートして行きたいと思ひます。

◆小林一彦さん (谷岡 忠)

日東電工ひまわり株式会社

◆鈴木基主さん (谷岡 忠)

有限会社汐見塗装工業所





# 老老介護を考える

長寿化が進行して高齢者人口が多くなるにつれて高齢者自身が高齢者を介護する状況が増えて来ています。身近に起こりつつある問題をみんなで考えさわらび会で出来ることをみつけてゆきたいと思います。

「老老介護」これは、文字通り「高齢者自身が高齢者の面倒を見る。」という意味です。現代社会では、少子高齢化や核家族化の進行により、この介護形態はさらに増えると予測されています。お互いが元気ならまだしも、そうでなければ家族共倒れの危険性や介護疲れによる心中事件などが現実起きているように、大きな社会問題となってきております。

実際の在宅での事例を挙げてみたいと思います。

## 事例1

夫〔90歳代・主たる介護者〕  
妻〔90歳代・要介護3〕

平成十七年五月に腰痛をきっかけに、徐々に歩けなくなってくる。

平成十九年十一月頃まで見守りて手摺りに捕まってトイレには行っていたが、認知症も目立ってきて、歩かなくなってしまう、ベッドで横になつてることが多くなってくる。また、「ここに誰かがいる。」「どこかに連れてかれちゃう。」などの

幻覚や妄想が出現してくる。

夫婦世帯から歩いて十分ぐらいの所に長女が住んでおり、毎日三〜四回は訪問しオムツ交換や着脱衣など援助をしている。

しかし、食事の準備・掃除・洗濯など家事全般については夫が行っている。

最近になって、家庭内での入浴が困難になり、デイサービスを利用し始める。



ご家族の意向としては、「お父さんが元気なので、とても助かります。本人達は、このまま在宅で過ごしたいという希望がありますので、なるべく家で面倒を見てあげたい。」とのこと。

今後、ヘルパーによる家事援助

や給配食サービスなどの在宅サービスの追加も視野に入れ、何より介護者である高齢の夫が介護疲れなどで倒れてしまわないような支援を考えてゆきたいと思います。  
(ケアマネージャー)

## 事例2

夫〔80歳代・主たる介護者〕  
妻〔80歳代・要介護2〕

高齢夫婦での生活であり、妻は軽度の認知症ではあるが、ヘルパーや給配食サービス及びデイサービスなどを利用しながら、家事など自分で出来ることはされている。

買い物については、近所の商店の協力もあり、素材などを適宜届けてもらったり、ヘルパーの支援を受けている。

二人とも心疾患があるが、夫は自転車で外出したり、病院に通院している。

妻の認知症は、体調により症状が



強く表れたりすることがある。夫は、妻の認知症が受け入れられず、感情的になってしまいうこともあったが、現在は落ち着いている。

徐々に認知症が進行し、最近では洗濯機の操作はできるが洗剤を入れ忘れたり、汚れた物と洗いがつたものの区別がつかなくなるなど、家事動作が出来なくなりつつある。

もう少し夫が協力的になってくるとよいが難しく、今後の生活が懸念される。



現在、ダイソービス・給配食サービス、ヘルパーなどの介護保険サービスを組み合わせて生活されている。今後、ヘルパーやダイソービスの

回数を増やしたりして、日々誰かが関わりを持ち、ご夫婦の安否の確認も含めて総合的に支援してゆけたらと思います。(ケアマネージャー)

二つの事例から見えてくることをまとめてみます。

### 問題点

#### ①健康面の問題

高齢者が、高齢者を介護する場合、介護そのものが困難になるだけでなく、バランスの取れた食事をするこゝとが出来なかったり摂取できないなど、それに伴い健康面の悪化が考えられます。

#### ②危機管理の問題

パートナーの身体的な異変に気づかなかつたり、悪質な訪問販売や「振り込め詐欺」の被害に遭うなど危機管理ができないという問題が考えられます。

#### ③安全面の問題

火の消し忘れや暖房器具の管理及

び、風呂の空焚き、或いは電化製品の間違つた操作など、安全面での問題も出てきます。

#### ④衛生面の問題

手洗いや食器洗いが出来なかつたり、ゴミの処理や入浴が出来なくなつたり、色々な要因で衛生的なことに困難を来すようになります。

このように、私たちが各家庭に於いて、普段何気なく当たり前のように出てくるのが、加齢とともに少しずつ出来なくなつてきます。その結果、日常の文化的な生活が営めなくなり、様々な生活上の問題点が出現してきてしまうようです。

又最近では、老老介護と共に認知介護も問題となつてきております。文字通り認知症の方を認知症の方が介護すると言うことです。

比較的初期の段階で、地域包括支援センターなどに相談にいられた場合などは、在宅に於いて予防プランを中心とした介護保険サービスを基本に、ケアプランが立てられるでしょ

うし、そうでなければ施設利用なども視野に含めたプランが、立てられると思われまふ。

私どもさわらび会では、豊橋市の委託を受け、福祉村地域包括支援センター及び、さわらび地域包括支援センターを在宅ケアの拠点として運営しております。ご本人様、ご家族様の意志を尊重して、ご希望の生活が継続できるように、支援していただくことを心がけて日々努力しております。

在宅において、介護など、何か困つたことがありましたらどうぞご相談下さい。  
(文責 山田)

#### お問い合わせ先

- ◎さわらび地域包括支援センター  
☎54-3521
- ◎福祉村地域包括支援センター  
☎45-5130





カタールのナイトレース  
残り1周で  
予選6位をつかむ

GP2アジア初のナイトレースで行われた第4戦カタール（ドーハ・ロサイルインターナショナルサーキット、1周5.4km）の予選、左近選手のタイムアタック中に他車のトラブルが起きてアタックが中断してしまっただが、ギリギリのタイムニングで予選再開、1周だけのチャンスに全てを集中して予選6位につけた。

そして13日午後7時（日本時間14日午前1時）からのナイトレースでは、スタート直後に他車が突っ込んできてマシンが大破してしまうが、日頃のトレーニングで身体を鍛えてあったために無傷で済んだ。

しかし、マシンの左側半分がなくなるほどの衝撃でマシンは壊れたため、翌日の第2レースに出場できるかどうかはメカニックの修理に任された。

# 山 本 左 近

**Exciting! GP2ASIA Series**

[カタールの夜]

## 「最後まであきらめない」

GP2アジアシリーズ第4戦。不屈の闘志で10台抜きを果たしフィニッシュ。  
メカニックへの感謝の気持ちを必ず結果で表してくれる。

●Photograph by IMAHARA Taro(TIPP)





激走！第2レース  
チームの期待に応え、怒濤  
の10台抜き!!

翌日、マシンの事はメカニックを信じていつもの通りにレースに向けて集中力を高めていく。するとピットオープンにもかかわらず10分前にマシンが仕上がりに、第2レースに出場することができた。

メカニックの徹夜の作業とファンの期待に応えるために、左近選手は最後尾スタートの厳しい状況からブッシュシユし続け、23周で10台を抜く激走で14位フィニッシュを果たした。徹夜で修理をしたメカニックは左近選手を信じ、最後尾スタートでも決して手を緩めることはなかった。そしてそれに応えるように、左近選手の操るマシンはごぼう抜きで他車を圧倒した。

次戦は赤道直下のマレーシア。メカニックへの感謝の気持ちも、必ず結果で表されてくれる。



## ◎ホームページが リニューアルしました!!



普段なかなか見られないレース舞台裏の写真や毎日更新のブログなど、左近選手の魅力満載のページになりました。

<http://www.sakon-yamamoto.com/>

### Sakon's News

● Next Race

● 4月3日～5日



マレーシア セバンサーキット

*Sepang International Circuit*

マレーシアの首都クアラルンプール郊外にある。1年を通して気温は30℃を超える、赤道直下のサーキット。

● 4月17日～19日



バーレーン バーレーンサーキット

*Bahrain International Circuit*

今期GP2アジアシリーズ最終戦、砂漠の真ん中にあるため、路面の砂がマシンのグリップを奪うテクニカルコース。



俳句浪漫

# 直筆の書で 季節を彩る

シゴクム施設長・東京大学客員研究員  
金井 芳之



気がつけば

東の空に

春進む

好きな季節は短く、嫌いな季節は長く感じるのは人の常であろうか。新年は新春と称されるが、実際の春にはまだ遠い。二月は一年で最も寒い日が多いと思われるが、何となく春の兆しを感じるのも二月だと思う。特にそれを感じるのが口の人りではなく夜明け時つまり東の空である。ひんがしの野にかざろひの立つ見えてかえりみすれば月傾きぬの如く太古の昔から春の情景が吟われている。万葉集屈指の柿本人麻呂の名作である。今回の小生の拙句は、情景は似ているものの、万葉集のは和歌、現代人に太古の自然

豊かな広大な原野を想像させてくれる。人麻呂に及ぶべきもないが、和歌とは違って短歌で情景を表現することの難しさと、それを完遂させて心地は決して悪くない。



祝

## 優秀チーム獲得

交通安全無事故・無違反

キャンペーン目標達成!



チーム名 「育ちゃん」のメンバー

代表者 小松育太郎さん 金子 悦雄さん  
河原 節子さん 烏山みゆきさん  
川端 弥住さん

豊橋市役所、安全生活課主催によるこのキャンペーンは、平成二〇年九月二十三日〜十二月二十二日までの百日間、三〜五人組で市内在住、在勤者なら誰でも応募出来るというものでした。普段から訪問業務のため車を運転するケースの多い居宅支援センターの職員。みんなで応募を決め、具体的にどのようにキャンペーンに取り組み、目標を達成するのかを話し合い、その内容を市に提出。そして、キャンペーン終了後、その達成度をまた報告という作業を繰り返して、八百チーム参加という中からみごと「優秀」チームに輝きました。



いかり先生の  
お遍路さん

第32回

●次の札所はお稲荷さん

— 四国八十八ヶ所霊場のめぐり —

福住村病院 副院長 伊莉 弘之

かんぽの宿  
「伊予肱川」  
で宿泊した翌朝、台風は過ぎ去っていた。大袈裟に言うのではない、生きて四国巡礼を続けられる感謝の気持ちでいっぱいだった。



「台風はどこかにいっちゃったね」と小四の娘。愛媛県北宇和郡三間町にある第四十一番稲荷山龍光寺は宇和島市の北東の小山の上にある。参道は石段で、その上に鳥居がある。もとは本尊が稲荷大明神だったので、この鳥居が寺の門なのである。

西暦八〇七年弘法大師がこの地を巡錫していると稲を背負った老人が現れて「私はいつまでもこの地に住んで法教を守り、庶民の幸を守り



ましよう。」と大師に告げると姿を消した。弘法大師はこの地に霊験があると感得し尊像を刻んで四国霊場の総鎮守とした。

その後は、稲荷寺として商売繁盛、出世開運の祈願に訪れる人々で賑わった。このあたりでは「三間のお稲荷さん」と呼ばれている。

「やっと巡礼の人に会ったね」と母。ここは神社だから、お参りする時に手をたたくの」と中二の娘。久しぶりの和やかな会話だった。



Vol. 14  
relay column  
さわらび会  
のわ

福住村保育園園長  
竹内 佐枝子

巣立ちの時

4月に新学期が始まり、あっという間に3月が過ぎてしまいました。

0、1、2歳児の1年の成長は、とても大きいものです。保育園でのさまざまな経験を通して共に笑ったり、喜んで泣いたり、悲しんだり小さな子どもたちは、集団生活の中でいろいろなことを経験し成長しています。今年も多くの子どもたちが福住村保育園を巣立っていきます。世界情勢の厳しいあおりを受け、日本経済の景気低迷が続く状況で、子どもたちを待ちゆくものは、決して甘いものではありません。どんなに困難な中でもいろいろな人との出会いは素敵なものであってほしい。人との出会いを大切に夢と希望を持ち、前向きに力強く生きていってほしいと願います。子どもたちがくじけそうになった時、無償の愛で子どもたちに手を差し伸べ心の支えとなってあげてください。いつも自分を信じ愛し続けてくれる人がいるだけで、どうにもならない辛いことがおきてもあきらめず頑張り続けることができると思っています。

逆境は、次のステップへのチャンス。今こそ子どもたちの未来が夢と希望あるものになるように皆で力を合わせていかなければと感じています。

次回は、ケアハウス カサデローリ 施設長 奈良昌子さんです。



◆福祉村病院・シユケム

- 1月16日 病院幹部会(理事長出席)
- 17日 社会福祉法人さわらびの会の新年会に理事長出席
- 18日 認知症の人と家族の会(三重県支部)主催の若年期認知症の講演会(松阪市産業振興センター)にて伊対弘之副院長が「認知症の人への正しい理解と対応」について講演
- 20日 社会福祉協議会成木たすけあい第2回配分委員会に理事長出席
- 21日 山本総務課課長が福祉村病院副院長に就任
- 22日 口総研主催の公開セミナー「認知症ケアマスター」(東京J)ホールにて伊対弘之副院長が「行動障害、急変、困窮事例への対応」について講演
- 27日 朝食情報交換会に理事長出席
- 29日 口医工井辰夫監。理事長、岡田副院長、奥田長方医学研究所長と会談
- 30日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室(あいトピ)にて伊対弘之副院長が「認知症の正しい理解」について講演
- 2月2日 名古屋市緑保健康所主催の認知症うつ予防教室(名古屋山緑保健康所)にて伊対弘之副院長が「認知症の予防」について講演
- 4日 さわらび編生会(理事長出席)パーセル大学で「認知症」の教授実施。長若医学研究所にてセミナー実施
- 5日 橋詰先生によるCPRC(理事長、Miyasaka)の教授出席
- 6日 富山大学大学院医学薬学研究所病理診断学講座准教授山幸一先生、新潟労務病院病理診断部長川口誠先生、消化器内科医日麻栞ホルム止之先生米院。Miyasaka)の教授と交流
- 10日 施設長会議(シユケム)に理事長出席
- 豊橋みなとライオンズクラブ例会に理事長出席

◆シユケム幹部会

- 13日 病院幹部会(理事長出席)
- 1月16日 地域包括センター研修(松下 岡)
- 17日 愛知県介護福祉士大卒ファーストステップ研修(施設長)
- 20日 介護報酬改定サービス事業者説明会(施設長、藤原、渡邊、松下、白井秀、浅見、白井和、ライフポートとよはし)
- 22日 認知症介護実践リーダー研修(村田、名古屋)
- 27日 全国老人福祉施設研究大会(施設長、浅見、田中、四日市、23日ケアマネージャー部会(白井秀、稲垣)
- 26日 認定調査員研修(藤原、白井秀、松下、浅見、白井和)
- 27日 はりほら通達推進会議
- 28日 愛知県老健協研修会(山沼、豊田市)
- 29日 介護認定審査会(施設長、市役所)
- 30日 愛知県福祉社会福祉施設長セミナー(施設長、名古屋)
- 2月3日 愛知県認知症地域支援体制構築7都府県報告会(栗田、名古屋)グループホーム研修(鈴木富、名古屋)
- 4日 園域ケア会議(渡邊、浅見、本江、つじが丘)
- 9日 愛老施設ケアマネ研修(栗田、名古屋)
- 12日 認定審査会(施設長、市役所)
- 愛老施設生活相談員研修(藤原、名古屋)
- 福祉用具、住宅改修事業者研修会(白井、浅見、本江、ライフポートとよはし)

◆若菜荘

- 1月17日 インド福祉村協会ワーキンググループ勉強会(施設長、人誠寺)
- 27日 全国老健協研究会(安立、四日市、23日)
- 26日 全国老健協施設推進委員会会議(施設長、東京)
- 27日 誕生会
- 2月3日 豆まき
- 4日 白治へ主催映画上映会
- 5日 白治へ役員会
- 6日 障害者福祉施設職員主任研修(佐藤、名古屋)
- 9日 別安全運転管理者講習会(河合、ライフポートとよはし)
- 11日 白治へ
- 2月22日 愛知県生活向上委員会(山本、春日市)
- 23日 障害者福祉施設職員中級研修(松井、名古屋)
- 28日 屋内消火栓操作訓練
- 30日 社会福祉施設長セミナー(施設長、名古屋)
- まちづくり出前講座にて講演(山中、小笠原)
- 1月22日 愛老生活向上委員会(山本、春日市)
- 23日 障害者福祉施設職員中級研修(松井、名古屋)
- 28日 屋内消火栓操作訓練
- 30日 社会福祉施設長セミナー(施設長、名古屋)
- 2月4日 身元保証NPO法人打ち合わせ(奈良施設長、長坂)
- 9日 施設ケアマネジャー研修(井上、名古屋)
- 10日 豊橋市介護保険事業者連絡会運営委員会(山本施設長、豊橋市役所)
- 11日 介護保険事業者戦略会議(山本施設長、徳島、12日)
- 12日 認定審査会(長坂、豊橋市役所)
- 21日 全国老人福祉施設研究会議(奈良施設長、東松、四日市、23日)
- 22日 認定審査員研修(長坂、井上、東松、名古屋)
- 26日 認定審査会(長坂、市役所)
- 29日 社会福祉施設長セミナー(奈良施設長、名古屋)
- 30日 身元保証NPO法人打ち合わせ(奈良施設長、長坂)
- 2月4日 施設ケアマネジャー研修(井上、名古屋)
- 9日 豊橋市介護保険事業者連絡会運営委員会(山本施設長、豊橋市役所)
- 10日 介護保険事業者戦略会議(山本施設長、徳島、12日)
- 11日 認定審査会(長坂、豊橋市役所)
- 12日 認定審査会(長坂、豊橋市役所)
- 21日 全国老人福祉施設研究会議(奈良施設長、東松、野崎、四日市)
- 22日 全国老人福祉施設研究会議(奈良施設長、東松、四日市、23日)
- 26日 認定審査員研修(長坂、井上、東松、名古屋)
- 29日 認定審査会(長坂、市役所)
- 30日 社会福祉施設長セミナー(奈良施設長、名古屋)
- 2月4日 身元保証NPO法人打ち合わせ(奈良施設長、長坂)
- 9日 施設ケアマネジャー研修(井上、名古屋)
- 10日 豊橋市介護保険事業者連絡会運営委員会(山本施設長、豊橋市役所)
- 11日 介護保険事業者戦略会議(山本施設長、徳島、12日)
- 12日 認定審査会(長坂、豊橋市役所)

◆明日香

- 1月18日 男女共生フェスティバルにて販売
- 21日 障害者ホームヘルパー研修(清水、名古屋)
- 30日 社会福祉施設長セミナー(施設長、名古屋)
- 2月1日 東三セルブ共同研修会
- 6日 施設職員主任者研修(藤井、名古屋)
- 8日 ハートイン東三河にて販売
- 9日 障害者就職面接会
- 10日 就労支援事業会計研修(藤井、名古屋)
- 11日 白治会
- 11日 テンソーにてクッキー販売
- ◆しろがね
- 1月16日 さなえ会おやつの本仕
- 26日 IFM合唱団による音楽サークル
- 2月3日 障害者基礎講座(佐藤)
- 9日 さなえ会おやつの本仕
- 9日 IFM合唱団による音楽サークル
- 12日 さなえ会おやつの本仕
- ◆各施設共通
- 1月22日 朝食情報交換会
- 2月6日 栄養士会議
- 10日 施設長会議
- 2月2日 各階別会議、食生活会議
- 5日 全国軽費老人ホーム協議会(東海北陸ブロック)研修会(施設長、浅岡、水野、多治見、6日)
- 6日 若菜会地域活動日
- 10日 若菜会役員会
- 11日 懇談会
- 12日 喫茶会がよし
- ◆あかね荘
- 1月17日 介護支援専門員更新研修(全7回、高橋、名古屋)
- 25日 絵画教室(鈴木先生)
- 31日 高リベイヤーミーティングに参加
- 2月4日 日本知的障害者福祉協会(東海地区)へ施設長、名古屋



## さわらび会後援会寄附ご芳名

平成21年1月15日～2月14日

市内牧野町90	小松ウメ氏	5,000円
市内東雲町47	梅村敏夫氏	16,000円
新城市南畑74	光田屋勝	10,000円
市内入舟町21	藤三忠薬品	10,000円
市内大清水町字富上見804-1	藤松谷建設	10,000円
市内小池町36-1	共和印刷有限	5,000円
市内高塚町神田68	川京敏明氏	5,000円
市内中岩田三丁目11-3	白井良治氏	1,000円
市内弥生町字西豊和9-9	林 昭氏	10,000円
市内岩町30	藤中野新松商店	10,000円
市内瓜郷町前川50-1	鈴木弘生氏	10,000円
市内東新町314	㈱日医工新和	10,000円
市内間屋町15-5	藤スズケン	10,000円
市内東川町154	鏡竹田商店	10,000円
市内飯村北二丁目26-16	佐藤川器械店	10,000円
市内東鷗三丁目1-17	森田由利子氏	10,000円
市内白河町100	中部ガス藤	10,000円
市内神野埠頭町2	神野臨海物	10,000円
市内野依町山中19-14	福祉村病院職員有志	4,000円
	匿名希望氏	500,000円
	匿名希望氏	10,000円

その他匿名希望多数の方よりご寄附頂きました。

計 676,000円

現在までにご寄附いただきました金額は  
823,948,308円



## インド福祉村協会寄附ご芳名

平成21年1月11日～2月10日

名古屋市中区新栄1-7-12	東海労働金庫	7,800円
名古屋市天白区池場3-307	水谷康子氏	10,000円
兵庫県加古川市八幡町宗佐544	株式会社セラム	2,000円
名古屋市昭和区山花町50	医療法人 生寿会 理事長 酒井宏氏	50,000円
大阪府岸和田市小松里町947-7	小野剛賢氏	6,000円
大阪府岸和田市宮本町28-22	栄師院 阿字親教室	10,000円
横浜市東郷町13	井上芳門氏	5,000円
名古屋市名東区高柳町902	清田佳男氏	5,000円
神奈川県横浜市南区中里3-4-11	横倉典子氏	5,000円
市内春日町23-1春日町ムラタビル305	村田 智氏	5,000円
名古屋市東区砂田橋2-1 A203	清水 潔氏	5,000円
名古屋市東区出来町1-7-8	小林智弘氏	5,000円
長野県長野市平林1丁目6-11	降旗伸子氏	3,000円
名古屋市南区本星崎町字宮浦540-2	畑中 聡氏	3,000円
日進市五色園4-1515	藤原輝三氏	5,000円
名古屋市千種区内山2-15-7	大賀 呆氏	1,000円
北海道二海郡八雲町野田牛80	菅原諭貴氏	3,000円
名古屋市北区如意1-147	小野純世氏	10,000円
市内大岩町	匿名希望氏(ワンちゃん)	10,000円

計 150,800円

### 募金方法(インド福祉村)

- 振込先 郵便局 ゆうちょ銀行・振替口座  
口座番号00830-2-65008 加入者名 インド福祉村協会
- 連絡先 軽費老人ホーム若菜荘 ☎0532-48-1138まで

### ＊お礼コーナー ありがとうございます＊

- ※印はご報告票銀行を通して
- ▼清水富士子様 ハマグリひな人形着せ※(あかね荘)
- ▼匿名様 米20kg※(あかね荘・若菜荘)
- ▼本郷中学校様 せうさん(各施設)

## 豊橋市相談支援充実・強化事業 講演会・パネルディスカッションのお知らせ

### ◆「このまちで暮らし続けるために

～当事者の想いがつくるまち～

**講師** 知多郡武豊町議会議員 小寺岸子氏

**日時** 平成21年3月3日(火) 18:30～20:00

**会場** 豊橋市民センター カリオンビル中会議室

主催(申し込み・お問い合わせ)・社会福祉法人さわらび会  
たまも荘障害者生活支援センター ☎0532-47-1050

### ◆「豊橋市の自立支援協議会のことおしえて」

(1)講演会「豊橋市の自立支援協議会について」

(2)パネルディスカッション

「もっと身近に自立支援協議会を」

**日時** 平成21年3月17日(火) 10:00～12:00

**会場** アイプラザ豊橋 2階小ホール

**対象** 豊橋市内福祉事業所職員(先着80名)

主催(申し込み・お問い合わせ)・社会福祉法人さわらび会

あかね荘障害者生活支援センター ☎0532-38-9090

### ◆「いつまでも豊かな地域生活を続けるために

～障害をもつ人たちの可能性を信じて～

**講師** 愛知淑徳大学医療福祉学部教授 谷口明広氏

**日時** 平成21年3月29日(日) 14:30～16:00

**会場** 豊橋市総合福祉センターあいのピア  
多目的ホール

主催・豊橋市委託相談支援事業所

共催・豊橋肢体不自由児(者)父母の会

申し込み・お問い合わせ

たまも荘障害者生活支援センター☎0532-47-1050





# 春風に誘われて●●●●



## 編集後記

今月号は、介護にスポットを当ててみた。65歳以上の人口が、総人口に占める割合を高齢化率と言いますが、日本はすでにその高齢化率が21%を超え、超高齢社会に入っている。介護を必要とする高齢者の数も増加の二途で、老老介護に加え、認知症の方が認知症の方を介護する認知介護も問題になっている。また、若年性認知症を取り巻く環境も非常に厳しい状況である。人の力ではどうすることもできないのが、医療や介護の現場。高齢者が豊に暮らし続けていくためには、地域で支えたいくことも重要であり、そのためには、まちづくりという視点も大切である。私たちは未来に何が残せるのだろうか。

(武田)

三喜紙屋 立ち権 大野数子 編集長

## 市民協会の力でみんなの幸せを

社会福祉法人 さわらび会 代表 川本 幸之

- 特別高齢老人ホーム さわらび荘 電話(0532) 54 3501  
法人本部 豊橋市治ノ上町7-2
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
- ケアハウス カサアローサ 電話(0532) 37 1209
- 延寿老人ホーム 若菜荘 電話(0532) 48-1138
- 障害者支援施設 珠漁荘 電話(0532) 47 1050
- 障害者支援施設 あかね荘 電話(0532) 48-2825
- 福祉村病院 電話(0532) 46-7511
- 障害福祉サービス事業所 明日香 電話(0532) 46-6579
- 福祉村特別福祉サービス事業所 しるがね 電話(0532) 48-1032
- 福祉コンビニ(東興町) 電話(0532) 69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生 電話(0532) 38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原 電話(0531) 24 0722
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム 電話(0532) 46-7501
- 田原市障害者生活支援センター(市議会) 電話(0531) 45 3828

さわらび 2009年3月1日発行 頁数 2431号 発行日発行  
(昭和62年2月21日第三種郵便物認可)  
編集責任者 宮田利敏 印刷 共栄印刷株式会社 定価 100円